

平成26年度 事業報告

1. 普及啓発事業

(1) 賛助会員

がん征圧運動に協力していただく賛助会員(維持会員)の拡大に努めた。平成26年度は、個人会員は369人、法人会員は105件であった。

(2) がん征圧月間運動

日本対がん協会は日本医師会との共催で9月を「がん征圧月間」と定めて全国展開し、北海道は9月10月を「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」としている。

がん征圧月間の具体的な取組みとして

ア 9月のがん征圧月間の行事として、北海道庁ロビーにおいて「がん予防パネル展」を開催した。

イ がんに関する正しい知識の普及、及びがん検診事業の拡大を図るため、地域団体と協力して街頭PRを行った。

ウ 広報資料・がん関係資料を報道関係者に積極的に提供し、新聞・テレビ・ラジオ等メディアを通じてがん征圧月間のPRを行った。また、がん予防ポスターを北海道医師会と連携し道内の医療機関及び市町村へ配付した。

エ 官公庁に協力を得て、がん検診受診促進のための懸垂幕・看板を提示してもらい、PRを行った。

(3) がん予防道民大会

広く道民にがんに関する正しい知識を普及し併せて、がん集団検診事業の推進を図る為、北海道・釧路市・北海道健康づくり財団と共催し、数多くの関係団体の後援のもと、10月24日(金)、釧路市観光国際交流センターにおいて次のとおり開催した。

本大会には、全道から800名が参加した。又、健康教育の一環として地元高校生の参加もあり、盛会裡に終了した。

大会の主な行事

○ がん予防功労者表彰

受賞団体 洞爺湖町、白老町、斜里町、小平町、厚岸町、旭川食生活改善協議会

○ 特別講演

「がんと人間と社会」

演者 日本対がん協会 会長 垣添 忠生 先生

○ 健康講演

「ドクターらく朝の”笑って笑って、がん予防”」

演者 落語家 立川 らく朝 氏

(4) 啓発セミナー

ア がん予防学級

一般市民を対象に、がんに関する正しい知識の普及を図るため、札幌・旭川・釧路の各センターで3コースを開講し、延べ195人が受講した。

イ 北海道家族の健康をまもる講習会

北海道健康をまもる地域団体連合会・北海道食生活改善推進員協議会、北海道結核予防会と共催し、平成26年7月4日～5日の2日間、美瑛町国立大雪青少年交流の家において、全道から参加した63名の受講者にかん・結核・栄養等に関する講習会を開催した。

ウ 講習会等

地域住民や保健推進員などを対象に、39回、2,865名に対し講演・講習会等を行った。

又、若い世代への健康教育活動の一環として高校の学生、292名に対し講演を行った。

(5) がん対策の概況

がん対策の概況については、昭和45年から毎年発行しているが平成26年度は8月に発行した。

(6) その他情報発信

ア 機関誌「しらかば」の発行

北海道対がん協会の機関誌である「しらかば」は平成26年10月に発行した。

イ ホームページの充実

近年、インターネットが年齢を問わず活発に利用されていることから、ホームページを充実し、新しい情報の提供に努めた。

ウ メディアの活用

メディアを通じて、がん予防の普及に努めた。

・市町村広報等を通じてがん予防の普及に努めた。

・ミニコミ誌・コミュニティFM局などで、がん検診についてPRを行った。

(7) 普及啓発の推進

ア 地区組織との連携

がんに関する正しい知識の普及、及びがん検診事業の拡大を図るため、各種団体・地区組織と連携を行った。

イ 企業との連携

巡回セミナー・ピンクリボン運動を通じて企業と業務連携し、がんの知識の普及及び検診の拡大を図った。

ウ ボランティア団体への支援

ピンクリボン運動の活動に取り組んでいる市民団体を支援し、その団体の協力のもと検診の拡大を図った。

エ 健康まつり等への参加

① 北海道健康づくり実行委員会の主催団体として参加し広く道民に啓発活動を実施した。

② 各市町村が行う健康まつり等に協力し参加者へ啓発活動を実施した。

オ バンフレット、リーフレット、ポスター等

バンフレット、リーフレット、ポスター等を作成配布し、がんに関する正しい知識の普及、及びがん検診事業の拡大を図った。

カ 子宮頸がんに関する普及啓発プロジェクトへの活動協力

札幌市保健所、市内大学、リボンムーブメント北海道（大学生の子宮頸がん啓発活動グループ）からなる標記プロジェクトに実行委員として参加したほか、メンバーのがんに関する正しい知識を習得するための研修会等の協力をおこなった。

(8) 各種がん対策会議

がん検診事業を拡大し受診率の向上を図るため、次のとおり会議を開催した。

ア がん対策推進会議

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に「がん対策推進会議」を次のとおり開催した。

■がん対策推進会議 平成26年10月10日（金）13：00～16：30 ホテルホールスター札幌

○ 報告事項

1 北海道からの報告

- ・がん診療機能評価事業
- ・がん登録について
- ・がん後遺症対策事業について
- ・ピロリ菌対策について

2 北海道対がん協会からの報告

- ・第46回がん予防道民大会について
- ・平成27年度検診事業について
- ・マンモグラフィ単独検診について

○ 講演

「がんを知り、がんにはげない」

独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター 院長 近藤 啓史氏

イ 日本対がん協会 東北・北海道ブロック会議

東北6県支部が集い、事業状況等について情報交換を行った。

（平成26年10月北海道札幌市にて開催）

ウ 各センター所在地と北海道対がん協会とのがん検診打合せ会議

がん検診を、円滑かつ効率的に実施するため、各センターが所在する札幌市、旭川市、釧路市と打ち合わせ会議を開催し、協議した。

(9) 受診率の向上

ア 計画検診の勧奨

受診の動機付けとして、胃がん検診60歳・子宮がん検診30歳・乳がん検診40歳の年齢の方に、官製はがきによる計画検診の実施を各市町村に勧奨した結果、胃がん27市町村、子宮がん28市町村、乳がん23市町村において、計画検診が行われた。

イ 未受診者への検診勧奨

新聞折り込みチラシ・未受診者勧奨はがき等を活用し、検診対象年齢でありながら一度も受診していない人についての働きかけや、1年未受診者・2年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、チラシを約590,000枚作成し、市町村へ提供した。

ウ 事業所などへの検診勧奨

検診が未実施の小規模事業所に対し積極的に働きかけを行い、がん検診の定着化をすすめた。

エ 日曜検診の実施

3検診センターで平日受けられない人などを対象に、がん検診と各種検診（健診）を23日間実施し延べ2,864人受診した。

オ 受診率向上委員会の充実強化

委員会の体制について見直し、充実強化に向けて、引き続き取り組む。

(10) 行政との連携強化

受診率の向上に向けて、北海道をはじめ市町村と連携強化し推進した。

(11) センター検診の充実

ア センター利用のPR

札幌市・旭川市・釧路市内の町内会へ積極的に検診をPRし、センター利用の受診拡大を図った。

イ ホームページからの予約

インターネット予約を利用し、パソコンやスマートフォンを利用した予約により、受診者の利便性を高めた。

(12) その他

ア がん電話相談事業

専任の相談員を置き「がん電話相談」事業を実施しているが、平成26年度の相談件数は92件（札幌市内75件、他市町村16件、不明1件）であった。これを性別で見ると、男性25人、女性67人、部位別では、乳がん、肺がん、大腸・胃がんの順であった。

イ 小舟会事務局（全国よろこびの会北海道支部）

会員相互の親睦・健康回復の実践を促すことを目的に設立された。事務局は当協会に置き、がん予防・思想普及啓発やがんの不安・術後の悩みを語り合う会・研修会などの活動を行った。

ウ 禁煙運動への参加

北海道禁煙週間実行委員会に参加して、WHOが提唱する世界禁煙デーを中心とする諸行事に参加協力した。

エ 北海道がん対策基金への参加

平成27年2月9日、「がんに負けない社会」の実現を目的として、北海道が中心となり、道内企業の協力のもと、北海道がん対策基金を設立した。当会は事務局として基金の管理・運営を担うこととなった。

2. 調査研究事業

(1) 学会研修

日本消化器がん検診学会北海道支部の主催する医師・放射線技師・保健師等の合同学会に参加・協力した。

また、職員の資質の向上を図るため、日本消化器がん検診学会・日本放射線技術学会・日本乳癌検診学会・日本臨床細胞学会等に28件、延べ43人を派遣した。

(2) 厚生労働省「がん対策のための戦略研究事業」

「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」の研究団体として参加。平成26年度は、調査票での乳房健康調査を実施した。

(3) 研究事業

子宮頸がん検診受診者の内、同意を得られた方に対して、細胞診に加えHPV-DNA検査を併用実施し、これにより子宮頸部病変の検出における、HR-HPVの検出または遺伝子型16型/18型判別の実有効性を検討することを目的として行った。参加者は16,329人であった。

研究名 「北海道におけるHPV併用検診臨床研究」

研究統括責任者 北海道大学大学院 医学研究科学婦人科学分野 櫻木範明教授

研究実施医療機関 北海道大学・札幌医科大学・旭川医科大学・北海道対がん協会

(4) 委託事業

下記の2事業について、公募型プロポーザル方式を通じて北海道より受託し、実施した。

ア 北海道がん相談・ピアサポート等体制整備促進事業（緊急雇用創出事業）

がん患者等の苦痛の軽減や療養生活の質の維持向上に資するため、気軽に相談や悩み事を語り合う場が確保されるよう、地域における相談支援機能の充実を図るための人材育成を目的に、がん診療連携指定病院のないいわゆる空白地域となっている留萌地区、北渡島・檜山地区の2地区に相談員及びピアサポーターを派遣し、「がんサロン」を開設、運営した。

イ がん診療機能評価事業（地域医療再生基金事業）

がん診療連携拠点病院が提供するがん診療機能等の水準の均てん化を図るために、診療実績等の把握・評価を行うこと、また、市町村が実施するがん検診事業の評価を行うことを目的として行った。平成26年度は拠点病院にかかるデータ整理を行った。

3. 会議開催状況

(1) 理事会

第1回理事会 平成26年6月11日(水) 場所 会議室

第2回理事会 平成26年6月30日(月) (書面による)

第3回理事会 平成26年12月5日(金) (書面による)

第4回理事会 平成27年3月23日(月) 場所 会議室

(2) 評議員会

第1回評議員会 平成26年6月23日(月) 場所 会議室

第2回評議員会 平成27年3月31日(火) (書面による)

(3) 四役会

第1回 平成26年5月23日(金) 場所 役員室

第2回 平成26年8月28日(木) 場所 役員室

第3回 平成26年11月27日(木) 場所 役員室

第4回 平成27年2月25日(水) 場所 役員室

4. 集団検診事業
総括表

(単位：人)

部位別	センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
胃 が ん	検 診 車	86,279	46,576	26,185	13,518
	検 診センター	28,553	16,416	8,423	3,714
	計	114,832	62,992	34,608	17,232
	計 画 数	119,140	64,200	36,560	18,380
	実 施 率	96.4%	98.1%	94.7%	93.8%
子 宮 が ん	検 診 車	22,337	11,307	8,063	2,967
	検 診センター	43,808	24,107	14,803	4,898
	計	66,145	35,414	22,866	7,865
	計 画 数	68,020	37,500	22,030	8,490
	実 施 率	97.2%	94.4%	103.8%	92.6%
乳 が ん	検 診 車	21,402	10,356	8,055	2,991
	検 診センター	46,907	26,795	14,860	5,252
	計	68,309	37,151	22,915	8,243
	計 画 数	69,120	38,860	21,530	8,730
	実 施 率	98.8%	95.6%	106.4%	94.4%
肺 が ん	検 診 車	68,965	29,199	24,629	15,137
	検 診センター	26,929	14,144	8,960	3,825
	計	95,894	43,343	33,589	18,962
	計 画 数	98,080	43,450	34,640	19,990
	実 施 率	97.8%	99.8%	97.0%	94.9%
大 腸 が ん	検 診 車	88,450	49,322	26,169	12,959
	検 診センター	43,103	26,245	10,902	5,956
	計	131,553	75,567	37,071	18,915
	計 画 数	124,300	70,600	35,280	18,420
	実 施 率	105.8%	107.0%	105.1%	102.7%
小 計	検 診 車	287,433	146,760	93,101	47,572
	検 診センター	189,300	107,707	57,948	23,645
	計	476,733	254,467	151,049	71,217
	計 画 数	478,660	254,610	150,040	74,010
	実 施 率	99.6%	99.9%	100.7%	96.2%

*肺がん検診にはヘリカルCT含む

総括表

(単位：人)

部位別	センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
前立腺がん	検診車	9,851	3,779	3,421	2,651
	検診センター	4,974	2,713	1,486	775
	計	14,825	6,492	4,907	3,426
	計画数	13,220	6,300	3,500	3,420
	実施率	112.1%	103.0%	140.2%	100.2%
特定健診	検診車	40,309	17,087	14,722	8,500
	検診センター	12,003	8,024	2,585	1,394
	計	52,312	25,111	17,307	9,894
	計画数	49,640	24,400	16,000	9,240
	実施率	105.4%	102.9%	108.2%	107.1%
定期健康診断	検診車	6,012	4,697	856	459
	検診センター	6,613	4,100	707	1,806
	計	12,625	8,797	1,563	2,265
	計画数	10,280	5,500	1,700	3,080
	実施率	122.8%	159.9%	91.9%	73.5%
協会けんぽ (生活習慣病 予防健診)	検診車	443	89	204	150
	検診センター	5,663	3,961	823	879
	計	6,106	4,050	1,027	1,029
	計画数	5,830	4,000	900	930
	実施率	104.7%	101.3%	114.1%	110.6%
人間ドック	検診車	97	-	97	-
	検診センター	2,005	1,484	356	165
	計	2,102	1,484	453	165
	計画数	3,260	2,000	860	400
	実施率	64.5%	74.2%	52.7%	41.3%
骨 検 診	検診車	895	819	-	76
	検診センター	11,376	7,572	3,228	576
	計	12,271	8,391	3,228	652
	計画数	12,540	9,350	2,300	890
	実施率	97.9%	89.7%	140.3%	73.3%
婦人科超音波	検診車	17,552	7,490	7,714	2,348
	検診センター	38,916	19,834	14,571	4,511
	計	56,468	27,324	22,285	6,859
	計画数	60,900	32,200	21,800	6,900
	実施率	92.7%	84.9%	102.2%	99.4%
腹部超音波	検診車	234	-	234	-
	検診センター	2,788	2,788	-	-
	計	3,022	2,788	234	-
	計画数	3,150	3,150	-	-
	実施率	95.9%	88.5%	-	-
小 計	検診車	75,159	33,961	27,014	14,184
	検診センター	84,338	50,476	23,756	10,106
	計	159,497	84,437	50,770	24,290
	計画数	158,820	86,900	47,060	24,860
	実施率	100.4%	97.2%	107.9%	97.7%
合 計	検診車	362,592	180,721	120,115	61,756
	検診センター	273,638	158,183	81,704	33,751
	計	636,230	338,904	201,819	95,507
	計画数	637,480	341,510	197,100	98,870
	実施率	99.8%	99.2%	102.4%	96.6%